

平成30年度事業報告

1. 航空保安研究センターは、安全かつ効率的な航空交通を実現するための航空保安業務に関する調査研究を行い、その成果を航空保安業務の改善、向上に役立て、航空交通の発展に寄与することを目的としており、この目的を達成するため、次のような事業を行っています。

- (1) 航空交通情報受配信業務
- (2) 飛行コース公開システム関連
- (3) 調査研究事業

2. 平成30年度（平成30年5月1日～平成31年4月30日）においては、以下の事業等を行いました。

- (1) 航空交通情報受配信事業
- (2) 飛行コース監視・航跡公開システム運用等業務（成田国際空港）
- (3) 管制レーダー情報管理等業務（成田国際空港）
- (4) 飛行コース公開システムに係るデータ編集作業（東京国際空港）
- (5) 航空安全プログラムの適用に伴う安全情報（自発報告）分析業務
- (6) 新千歳空港容量評価シミュレーション調査業務
- (7) 千歳飛行場東側滑走路等の民航機利用に関する基礎的調査
- (8) 平成30年度福岡空港の地上運用実態調査作業及び飛行経路データ提供
- (9) NOPAC 経路及び PACOTS 経路の再編等に関する要件調査
- (10) 安全情報データ活用手法に関する調査
- (11) ノータムのデジタルデータ化に関する調査
- (12) 交通量算出のための管制作業負荷に関する調査
- (13) 北海道内管制空港の滑走路処理能力に関する調査
- (14) 広島、熊本空港の滑走路処理能力に関する調査
- (15) 首都圏空港の滑走路処理能力に関する調査